

花火大会を支えるヒトの思い スマホクリエイターズLab.がキリトル。

皆さんは、東海まつり花火大会が有志の集う「東海まつり実行委員会」により運営されていることをご存じでしょうか。今回、情報発信スキルを学んだ住民ライターが村の魅力を発信するプロジェクト「東海村スマホクリエイターズLab.」が花火大会を支えるヒトの思い取材しました。

【問い合わせ】地域戦略課プロジェクト推進担当(☎282-1711 内線1331・1339)



▲スマホクリエイターズ Lab.



▲インタビューの全文はこちら

東海まつりが記憶に残り、継承されることがみんなの願い

◆**子どもたちに特別な夜を**
東海まつりの準備は5月頃から始まります。準備は大変ですが、誰もが心のどこかに持っているお祭りの思い出を、今の子どもたちにもつづけてあげたいとの思いで頑張っています。
コロナ禍前から変わることなく、今年も多くの事業所・店舗・個人からご協賛をいただいたことは、大変ありがたいことでした。この場をお借りして御礼申し上げます。

◆**みんなが喜びを分かち合える一瞬のために…**
私たちの役割は、花火師さんとお客さんをつなげるのだと思っています。花火が打ち上がる一瞬は、多くの方が同時に喜びを分かち合うことができます。毎年、素晴らしい場に立ち会うことができ、幸せだと感じます。これからも花火を見た方の心が満たされるような場をつくり続けていきたいです。



東海まつり実行委員会会長
橋本秀也さん

思い出に残る夏の花火大会 その場を作るのが私たちの役目

◆**三世代の心に残る思い出を**
東海まつりの準備に携わって約23年経ちますが、私は家族と一緒に東海村の花火を見たことがありません。実行委員の多くは、自分や家族との時間を削って、祭りの準備をしています。それでも続けられるのは、たった一夜の花火大会が三世代の一生の思い出になるからです。子どもたちの笑顔を見ると、本当にやってきて良かったと思いますね。

◆**東海まつりの今後に向けて…**
東海まつりの準備は、綿密なスケジュールを立てて万全の態勢で臨んでいます。準備は本当に大変ですが、頼もしい仲間たちに支えられていますね。東海まつり実行委員は、40〜50歳のメンバーを中心に活動しています。まだまだ頑張れますが、いつまで体力が持つか心配もあります(笑)。ぜひ新しい仲間に加わってほしいです。花火が上がった瞬間の感動を、多くの方と一緒に分かち合いたいと思います。



東海まつり実行委員会花火部会長
川崎悟さん

あなたは今年、誰とこの花火を見上げましたか？



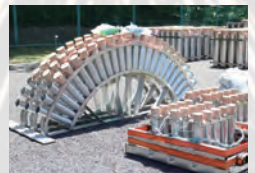
野村花火工業株式会社(水戸市)
代表取締役 野村陽一さん

花火の魅力は「一瞬の輝きとはかなさ」 花火は消えてしまうから美しい

◆花火師が語る花火の魅力

打ち上げ花火が出
来上がるには最低で
も数週間、大きいも
のだと数か月かかり
ます。とても時間が
かかりますが、手作
りなので毎回花火の
開き方が違います。
打ち上げるまで結果
が分からないから面
白いです。材料や配
合比率、仕込み方な
ど、常に上を目指して研究していま
す。自分が思ったとおり花火が開
くとうれしいですね。

花火の魅力は「一瞬の輝きとはか



なさ」です。打ち上げられた花火は、
一瞬で花開き、消えてしまうからこ
そ、みんな夢中で見上げてしまうの
ではないでしょうか。光と音の芸術
を、頭を空っぽにして見上げる。日
頃の疲れを忘れて心の洗濯になっ
たらいいなと思っています。

【プロフィール】

水戸市生まれ。母方の実家が舟石
川。平成3(1991)年に開催され
た「土浦全国花火競技大会」10号玉の
部で優勝。以後、数々の全国の花火
大会で優勝を飾るほか、内閣総理大
臣賞を20回以上受賞するなど、日本
を代表する花火師として活躍中。



東海まつり実行委員として一
緒に東海まつりを盛り上げたい
という方を、随時
募集しています。興味がある方
は、東海まつり実行委員会事務
局(東海村観光協会内 ☎287-
0855)へお問い合わせください。



▲東海まつり
ホームページ

第95回「全国花火競技大会(大曲の花火)」 最優秀賞 内閣総理大臣賞

8月26日、秋田県大仙市で開催された第95回「全国花
火競技大会(大曲の花火)」において野村花火工業株式会
社が「最優秀賞 内閣総理大臣賞」を受賞しました。おめで
とうございます。